

# 博物館からのお知らせ

## 博物館講座

### 8/6 組むも製作体験

組むもの概略を学び、キーホルダーなどの作品を作ります。

時 間 13:00～15:30  
対 象 小学生以上  
場 所 研修室1  
募集期間 7月9日(土)  
～7月23日(土)  
定 員 20名



### 8/7 おもしろいたねのしくみ

たねは飛ばされたり流されたり、動物にくっついたりします。おもしろい形をした「たね」のしくみについて学び、飛ぶタネの模型をつくって飛ばします。

時 間 10:00～12:00  
対 象 小学生以下  
場 所 研修室1  
募集期間 7月10日(日)  
～7月24日(日)  
定 員 20名



### 8/20 採集作品の名前を調べる会

夏休みに採集した植物・昆虫・貝・岩石・化石の名前を調べます。

時 間 10:00～15:00  
対 象 小学生以上  
場 所 情報室  
事前申込みなし



### 8/21 ふしぎ生物「クマムシ」を観察しよう

顕微鏡を使ってふしぎ生物「クマムシ」を観察します。クマムシの魅力に迫るとともに、顕微鏡の使い方も学習します。

時 間 10:00～12:00  
対 象 小学生以上  
場 所 研修室2  
募集期間 7月24日(日)  
～8月7日(日)  
定 員 20名(保護者を含む)



### 9/25 霧島火山のミニ立体地図をつくろう

霧島火山群の立体地図づくりを通して、地形図の見方や霧島火山群がどのようにできたのかを学びます。

時 間 10:00～12:00  
対 象 小学4年生以上  
場 所 研修室1  
募集期間 8月28日(日)  
～9月11日(日)  
定 員 20名



### 10/8 行滕山で秋の花を観察しよう

登山をしながら行滕山に見られる秋の山野草を観察します。

時 間 10:00～15:00  
対 象 小学4年生以上(健脚向き)  
場 所 行滕山(延岡市)  
募集期間 9月10日(土)  
～9月24日(土)  
定 員 20名



### 10/15 うのこの滝の地質探訪

うのこの滝について地質の視点から滝が存在する背景に迫ります。

時 間 13:00～15:00  
対 象 小学4年生以上  
場 所 うのこの滝(五ヶ瀬町)  
募集期間 9月17日(土)  
～10月1日(土)  
定 員 20名



### 10/23 チリモン図鑑をつくろう

ちりめんに含まれる小さな海の生きものたち(チリモン)を探し観察することで、宮崎の海の豊かさを学習します。

時 間 10:00～12:00  
対 象 小学生以上  
場 所 都城西高校(都城市)  
募集期間 9月25日(日)  
～10月9日(日)  
定 員 25名(保護者を含む)



講座の申込みは、次の方法で受け付けます。  
詳細は、博物館にお問合せください。

①はがき ②FAX ③ホームページ  
④来館時に総合案内

お問い合わせ TEL 0985-24-2071  
FAX 0985-24-2199

## 展示解説員の声

### 神楽シアター

宮崎県では現在でも約200の団体により、各地で神楽が奉納されています。山、里、海、それぞれの地域に様々な神楽があります。

民俗展示室にある神楽シアターは、そのうちのひとつ高千穂町の浅ヶ部神楽の様子を再現しています。神楽が舞われる「御神屋」、天井の東西南北に飾られる「エリモノ」、神々が下りてこられる時の目印となる「外注連」などが忠実に再現されています。

また壁には、神楽で使われる「神楽面」を展示しています。

シアターでは「宮崎の神楽」とお子さま向けの「神楽ってなあに？」の2本の映像が交互に流れます。どちらも神楽についてわかりやすく説明しています。

神楽の世界をぜひご覧ください。(首藤)



## 観覧時間・休館日のお知らせ

観覧時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)  
但、8/16を除く

★9/9～9/20は、館内燻蒸のため休館いたします。

博物館のホームページにはイベント情報、寄せられた質問とその答え、過去の「森の通信」、職員ブログなどの情報が盛りだくさんです。  
ぜひアクセスしてみてください。

宮崎県総合博物館

検索

# 森の通信

第60号



自然と歴史の大発見  
宮崎県総合博物館  
Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2016年6月13日

発行 / 宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071  
http://www.miyazaki-archive.jp/museum/ FAX(0985)24-2199

# フクフク! ふしぎ生物ワンダーワールド

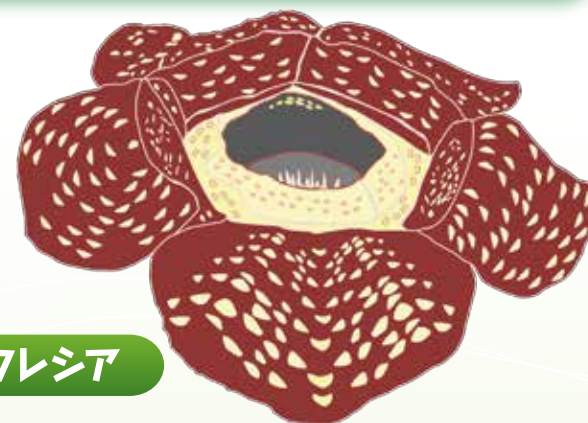
～のぞいてみよう、生き物たちの変わった形とくらし～

2016年 7/16(土)～9/4(日)

観覧時間 9:00～17:00 (入場は16:30まで)

休 館 日 8/16を除く 毎週火曜

観 覧 料 大人700円 小中高生300円 未就学児無料



ラフレシア



トゲクマムシ

生命誕生40億年の中でそれぞれの生き物が選んだふしぎな形やくらしはとてもユニーク。現在3,000万種を超える生物たちの世界は「生物多様性」ということばに象徴されるように豊かな自然の宝ともいえます。

熱帯雨林の奥地で咲く花「ラフレシア」が、昆虫を誘う香りはどんなにおい? 何と今回その「香り」を九州初公開! 全長0.2mmなのに最強生物!?「クマムシ」。そのクマムシを、4mを超えたサイズに超拡大して展示!

この夏、総合博物館が「ワンダーワールド」に大変身!



アカナマダ



写真提供: 国立科学博物館筑波実験植物園 園長 岩科 司氏

セイタカダイオウ

宮崎海洋高校の実習船で捕獲された幻の深海魚。奇妙な姿を初公開! 知られざるふしぎな生態の一部が明らかに…。

ヒマラヤ山脈に育つ2mにもなるふしぎな植物。寒さに耐えなかまを残すためのしくみとは…



講座紹介

# チリモン図鑑をつくろう

みなさんは「チリモン」と聞いて何だか分かりますか？

「チリモン」とは、ちりめん(カタクチイワシの稚魚を乾燥させたもの)に含まれる小さな海の生きものたちをチリメンンスターと称し、それを略して呼んだものです。チリモンにはカニの幼生「メガロパ」や「ソエア」、イカやタコの幼生、フグなどの魚の稚魚がいます。中でもレアなチリモンとして、タツノオトシゴやコバンザメ、マツカサウオの稚魚などが

います。この講座は、これらのチリモンをちりめんの中から見つけ出し、図鑑をつくる講座で、総合博物館が行う人気講座の1つです。

今年は10月23日(日)、県立都城西高校を会場として行います。あなたも講座に参加してレアなチリモンを見つけて図鑑をつくり、宮崎の海の豊かさについて学習してみませんか!?(外山)



メガロパ



シャコ



マツカサウオ



タツノオトシゴ



チョウチョウウオ



イカ

宮崎の自然情報

## 関之尾の甌穴

大淀川支流の庄内川にある幅40m、落差16mの「関之尾の滝」は、霧島ジオパークのジオサイトの一つで、日本の滝100選に選ばれています。滝の上流の河床には、長さ約600mにわたって世界最大規模の甌穴群が見られ、「関之尾の甌穴」として国の天然記念物に指定されています。甌穴や滝をつくっている岩石は、加久藤火砕流堆積物(現在のえびの市付近で約34万年前に起きた巨大噴火の火砕流堆積物)の溶結凝灰岩です。滝口の崖では、溶結凝灰岩が冷えて固まってくときにできた割れ目(柱状節理)を見ることができます。関之尾の甌穴の多くは、川の水流が節理に沿って岩盤を削ってできたと考えられ、いくつかの甌穴が連結して溝のような形をつくっています。また、岩盤のくぼみに落ち込んだ小石などが水流によって回転し、岩盤を削ってできたと考えられる円筒状の穴もところどころに見ることができます。雨の後などの増水時の滝は迫力満点ですが、甌穴群の観察には渇水時がおすすめです。渇水時には甌穴が水没しないので、甌穴の形がよく分かります。(濱田)



関之尾の甌穴(空撮)



関之尾の滝の崖に見られる柱状節理

歴史展示室紹介

## 大きな影響を与えた“山陰・坪谷村一揆”

「日向国の村風景」というコーナーに、山陰・坪谷村一揆に関する資料があります。

山陰・坪谷村一揆は、元禄3年(1690)に延岡藩領の山陰・坪谷村(現、日向市東郷町)の百姓たち約1400名が、高鍋藩領に逃散した一揆です。郡代の圧政と村役人の不正が直接の原因でした。この一揆の裁決は、幕府評定所に持ち込まれ、百姓ら14人が死罪等に処せられるとともに、郡代は追放となりました。

また、この一揆の責任を問われた有馬氏は転封となり、三浦氏が新しい藩主として延岡に入ってきました。三浦氏は、俟約の励行、年貢徴収の不正取締り、鉱山の開発などにより藩財政の立直しを図りました。この一揆により、百姓からの収奪強化が難しくなったことが推測されます。このように山陰・坪谷村一揆は、その後の延岡藩の藩政に影響を与えました。(佐藤)



収蔵資料紹介

## 画文帯神獣鏡

(持田古墳群24号墳出土 径25.4cm 本館蔵)

国指定史跡持田古墳群は、児湯郡高鍋町の小丸川北岸に広がる標高約50mの台地上と平野部に広がっていて、4世紀から7世紀頃にかけて築かれた85基の古墳があります。

台地上にある径25mの円墳である24号墳からは、日本では祭器、副葬品など権力の象徴として使われた銅鏡「画文帯神獣鏡」(同向式、写真)が出土しました。鏡には、鈕の周囲に神仙像、その間に奇獣を図案化した文様が描かれることが多いのですが、この銅鏡には東王父(男仙を統率する仙人)、西王母(女仙を統率する仙人)、玄武(北の方角の守護神で、亀に蛇が絡む図柄)、龍などが配置されています。同じ鋳型でつくられた鏡が、持田古墳群25号墳のほか、熊本県江田船山古墳、岡山県茶臼山古墳などで26面確認されており、権力者の系譜や関係をうかがい知ることができる資料です。(初木)



(『宮崎県史 資料編考古2』<宮崎県、1993年>、「みやざきデジタルミュージアム」、川西宏幸「同型鏡考—モノからコトへ—」<『筑波大学先史学・考古学研究 第十一号』2000年>、今塩屋毅行「宮崎県高鍋町所在の持田古墳群—その形成過程と評価をめぐって—」<『宮崎県立図書館文化講座研究紀要 第三十七輯』2011年>)

利用者からの問い合わせ

## 「カンカン部隊とは何ですか？」

カンカン部隊とは、門川町に住む女性達が、港にあがる魚介類を宮崎市や延岡市、都城市で売り歩いた人達で、その女性が背負う容器をカンカンといいました。

早朝、港の市場で魚を購入しカンカンに詰め門川駅に向かいました。駅で魚の加工業者から天ぷらなどの加工品を受け取り、汽車に乗り込みました。それぞれ売る地域が決まっており、最寄りの駅に着くと、駅に置いてあるリアカーに魚を入れ、なじみのお客さんに売りました。

カンカン部隊の女性達も高齢化し、現在はその姿をみることはできません。(小山)

